

作成日 2012年7月12日

改訂日 2016年7月5日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 Vigorus 耐摩コンパウンド  
 会社名 都インキ株式会社  
 住所 大阪府大阪市鶴見区放出東 1-7-13  
 担当部門 技術課  
 担当者 中田 敦嗣  
 電話番号 06-6961-0101  
 FAX 番号 06-6961-0303  
 メールアドレス [gijutu\\_nakata@miyakoink.co.jp](mailto:gijutu_nakata@miyakoink.co.jp)  
 緊急連絡先 同上  
 整理番号 Z-115-01

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類 可燃性／引火性エアゾール 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性固体 有機過酸化物	区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外
----------	---	--

健康有害性

環境有害性

上記に記載のない危険有害性は分類対象外か分類できない

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	表示なし
注意喚起語	注意喚起語なし
危険有害性情報	危険有害性情報なし
注意書き	注意書きなし

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

一般名：平版インキ用助剤

## 成分及び含有量

化学名	含有量 (%)	化学式	官報公示No. (化審法)	CAS No.
炭化水素系ワックス	40>	非開示	非開示	非開示
動植物油	80>	特定できない	対象外	非開示

労働安全衛生法通知対象物質：なし

毒劇法の該非：非該当

PRTR 法の該非：非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、直ちに医師の手当てを受ける。  
 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴等脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で清浄し、多量の水で洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。  
 目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。  
 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄させる。直ちに医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡が有効である。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水。火災拡大の可能性がある。
- 特有の危険有害性 : 燃焼の際に黒煙、一酸化炭素、亜硫酸ガスを発生する。
- 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。  
: 火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
- 消火を行なう者の保護 : 消火活動は風上から行ない、必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行なう。  
: 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材（回収・中和など） : すべての着火源を取り除く。  
: 少量の場合は、布などを用いて回収する。  
: 多量の場合は、流出、拡大防止を行なった後に、柄杓等で回収する。
- 二次災害の防止策 : 漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。  
: 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策 : 労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。  
: 暴露の危険性が生じる場合には保護具を着用する。  
: 喫煙、裸火、熱または発火源を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
: 室内で取り扱う場合は十分な換気を行なう。
- 注意事項 : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
: 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。  
: 屋内作業場における取扱い場所では局所排気装置を使用する。  
: 吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。

## 保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、涼しいところ／換気の良いところで保管すること。
- 避けるべき保管条件 : 高温での保管は避ける。保管の場所では禁煙とする。
- 混触危険物質 : 酸化性物質、有機過酸化物、強アルカリと一緒に置かない。

## 8. 曝露防止措置及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。  
: 使用材料の中に 8 時間加重平均 (TWA) 10mg/m<sup>3</sup> のオイルミストと示唆される動植物油を使用している。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 蒸気、ミストが発生する場合は、保護マスクを着用する。
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡／保護面／ゴーグル等を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : この製品を使用する際に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : ペースト状
- 色 : 黄白色
- 臭い（臭いの閾値） : わずかに臭いあり
- pH : —
- 融点・凝固点 : —
- 沸点 : —

沸騰範囲	:	300℃以上
引火点	:	—
自然発火温度	:	—
燃焼性（固体、ガス）	:	—
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	:	—
蒸気圧	:	—
蒸気密度	:	—
蒸気速度	:	—
比重（相対密度）	:	約 0.9
溶解度	:	—
オクタノール／水分配系数	:	—
分解温度	:	—

1 0.安定性及び反応性

安定性	:	常温で暗所に貯蔵・保存された場合、安定である。 : 50℃以上でワックスが凝集することがある。
危険有害反応可能性	:	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	:	日光、熱、裸火、高い温度、スパーク、静電気、その他発火源。 : 混触禁止物質との接触。
混触危険物質	:	強酸、強アルカリ、酸化剤 : ハロゲン類 : 酸化性物質
危険有害な分解生成物	:	一酸化炭素、二酸化炭素

1 1.有害性情報

急性毒性(経口) mg/kg	急性毒性(経皮) mg/kg	急性毒性(吸入: 気体)mg/kg	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	皮膚腐食性・ 刺激性	目に対する重篤な 損傷・眼刺激性
分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

呼吸器感作性 皮膚感作性	生殖細胞変 異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器・ 全身毒性 (単回暴露)	特定標的臓器・ 全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸器 有害性
分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

1 2.環境影響情報

水生環境有害性 (急性)	水生環境有害性 (慢性)
分類できない	分類できない

残留性・分解性：情報なし  
 生体蓄積性：情報なし  
 土壌中の移動性：情報なし

1 3.廃棄上の注意

残余廃棄物	:	内容物／容器を国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。 : 取り扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、可燃性物質に関する一般的な注意による。 : 廃棄物処理業者に委託する場合は、可燃性物質であることを明記する。
汚染容器、包装	:	内容物／容器を国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

1 4.輸送上の注意

国際規則		
国連分類	:	国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国内規制		
消防法その他の法令に従う。		

消防法 : 指定可燃物 可燃性固体類  
道路法 : 非該当  
船舶安全法 : 非該当  
航空法 : 非該当

輸送の安全対策及び条件

転倒、落下等により容器が破損しないよう積載し、荷崩れ防止等の処置を確実に行なう。

1 5.適用法令

国内法令

消防法 : 指定可燃物 可燃性固体類に該当する。  
海洋汚染防止法 : 油分排出規制  
PRTR 法 : 非該当  
水質汚濁防止法 : 油分排出規制

1 6.その他の情報

問合せ先

担当部門	当社 技術課
電話番号	06-6961-0101
FAX 番号	06-6961-0303
メールアドレス	<a href="mailto:gijutu_nakata@miyakoink.co.jp">gijutu_nakata@miyakoink.co.jp</a>

---

\* 「安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や、新しい知見により改訂されることがあります。  
本製品を取扱う場合は、記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。  
本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。